

日米ともに大幅高

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

大幅高

昨日の東京市場では、米国市場の大幅な反発を好感して、日経平均は前日比+776円(+2.9%)の2万6992円で引けた。業種別騰落率では全銘柄が上昇、卸売(前日比+5.3%)、鉱業(同+4.9%)、石油(同+4.1%)が上昇率の上位、海運(同+0.6%)、空運(同+1.8%)、ゴム(同+2.2%)が下位であった。個別銘柄では、前日に好調な決算を発表したクスリのアオキが前日比でストップ高となって年初来高値を更新、コスモス薬品(前日比+6.8%)、コーセー(同+7.9%)など、他の消費関連銘柄も高い。他では、2023.3期通期の純利益と一株当たり配当予想の引き上げを発表した伊藤忠が同+8.3%の大幅高で終えた。一方で、日経平均の構成銘柄では川崎汽船(前日比▼0.9%)が売られた。

金利引き上げペースの減速期待が広がる

現地4日の米国市場では、金利引き上げペースが減速するとの見方が台頭し、NYダウは前日比+825ドル(+2.7%)の3万316ドルと連日で大幅高となって、2営業日で1591ドルの上昇となった。ナスダックも前日比+360ポイント(+3.3%)の1万1176ポイントの大幅高で終えた。個別銘柄では、マスク氏が4月下旬に合意した価格で買収に歩み寄りと伝わったツイッターが前日比+22.2%の大幅高、新製品の発表が好感されたイルミナも同+9.5%と買われた。エヌビディア(前日比+5.2%)、AMD(同+2.7%)、アプライドマテリアルズ(同+3.6%)など半導体関連銘柄が買われ、SOX指数は前日比+4.4%の上昇で終えた。ゴールドマンサックス(前日比+5.2%)、JPモルガンチェース(同+4.6%)などの金融株、GM(同+8.9%)、フォード(同+7.7%)などの自動車株が高い。WTI原油先物は、前日比+3.4%の86.52ドルと2営業日大幅続伸し、米10年債利回りは同▼0.01%の3.63%で終えている。

今日の予定

今朝のシカゴ日経平均先物は、大証比+260円の2万7170円で終えた。今朝のドル円は1ドル144.20円程度(7時現在)で推移している。今日の主な予定は、国内は特になし、海外では9月のADP全米雇用報告、8月の米貿易収支、9月米ISM非製造業指数の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/10/4 現在

日経平均	2万6992円
プライム売買代金	3兆2293億円
プライム時価総額	686兆6319億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

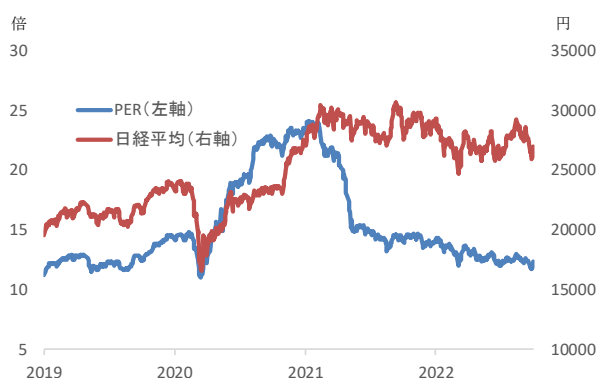
国内株式売買代金ランキング

2022/10/4 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	2.7%
2 ソフトバンクグループ	5.0%
3 東京エレクトロン	2.6%
4 トヨタ	3.2%
5 ソニーグループ	2.5%
6 任天堂	3.9%
7 ファーストリテイリング	2.0%
8 日本郵船	0.3%
9 キーエンス	3.7%
10 三菱 UFJFG	3.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa